

陳 情 文 書 表

|            |   |
|------------|---|
| 受 理 番 号    | 第 1 3 号   |
| 受 理 年 月 日  | 令和 8 年 3 月 2 4 日  |
| 件 名        | mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情  |
| 陳情者の住所及び氏名 | 群馬県桐生市<br>個人  |
| 陳 情 の 要 旨  | <p><b>【趣旨】</b><br/>           下記の事項について、地方自治法第99条の規定による意見書を、国に対して提出するよう陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）の国民への接種を中止すること。</p> <p><b>【理由】</b><br/>           全国の市民が行った「コロナワクチン接種データ開示請求プロジェクト」の全国161の市町村、5,620万回 接種後死亡観測データ(令和8年3月1日時点)によると、コロナワクチン接種当日と翌日の死亡者は、729人となっている。また、このデータを基に発表された論文によると、最後のコロナワクチン接種から約3～4ヶ月後に死亡者のピークがあることがわかる。これらの死因は特定されていないが、看過できるものではない。</p> <p>新型コロナワクチン接種による予防接種健康被害救済認定数(令和8年3月6日時点)は、累計進達受理件数14,933件、累計認定数9,454件、死亡一時金または葬祭料に係る件数を含む累計認定数 1,066件となっている。しかし冒頭の自治体から開示されたデータをふまえると、これらの数字は氷山の一角であることが明確である。</p> <p>新型コロナワクチンで使用されたメッセンジャーRNAワクチン（以下mRNAワクチン）は、「標的細胞」が特定されぬまま特例承認として接種が開始された。筋肉注射された薬液は全身をめぐるため、あらゆる細胞がmRNAを取り込む可能性があり、その結果スパイクタンパク質を発現した細胞は、自身の免疫細胞の攻撃を受ける。このスパイクタンパク質は、当初すぐに分解されると説明されていたが、接種後長期にわたり検出されたという論文が発表されている。また、新型コロナワクチンの繰り返し接種では、IgG4の誘導等による免疫抑制などが懸念されており、人体への影響は長期に及ぶものと考ええる。</p> <p>厚生労働省健康・生活局 感染症対策部長および厚生労働省医薬局長から各都道府県知事に出された「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正等について(令和6年8月8日感発0808第5号 医薬発0808第1号)の中でも、新型コロナワクチン接種後の長期にわたる影響、発症までの期間が長いことなどに触れられており、現時点での新型コロナワクチンの安全性の検討は不十分であると考ええる。</p> <p>厚生労働省や自治体が出している情報は、必ずしも正しいとは言えない現実がある。まずは接種事業を中止して、改めてこのワクチンの有効性、</p> |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>安全性、そしてリスクについて公正に調査・解明し、真実を公開することが必要である。併せて接種後に健康被害に苦しんでいる方々に、十分な支援が行き届くことを望む。</p> <p>桐生市議会には、住民の生命と健康を守るために、慎重かつ責任ある対応をとっていただけることを強く求める。</p> |
| 付託委員会 | 教育民生委員会  |
| 審査結果  |  |